

2011 年年間（1-12 月）課税出荷数量ヘッドライン

1. 市場全体の概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル市場は、東日本大震災の影響や、生活防衛意識の高まり、嗜好の多様化、少子高齢化などの影響もあり、マイナス（▲3.7%）。
- ◆ ビール市場は、マイナス（▲4.1%）。
- ◆ 発泡酒市場は、マイナス（▲12.9%）。
- ◆ 新ジャンル市場は、プラス（+1.8%）。構成比は 34.7%。

2. キリン社概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル計は、市場同様にマイナス（▲4.9%）。
- ◆ ビール計は、マイナス（▲4.2%）。
- ◆ 発泡酒計は、マイナス（▲9.0%）となったものの、業界平均を上回った。
- ◆ 新ジャンル計は、マイナス（▲2.0%）。「のどごし〈生〉」はプラス（+1.0%）と好調を継続。

《ビール・発泡酒・新ジャンル》

- 市場同様に、マイナス（▲4.9%）となったものの、定番商品強化の効果もあり、「のどごし〈生〉」「淡麗グリーンラベル」はプラスとなった。

《ビール》

- 「一番搾り」は、マイナス（▲2.3%）となったものの、市場平均（▲4.1%）を上回った。

《発泡酒》

- 「淡麗グリーンラベル」は、新テレビ CM の効果もあり、プラス（+1.3%）を達成。
- 発泡酒市場に占めるシェアは、年間としては過去最大を記録。

《新ジャンル》

- 新ジャンルカテゴリで圧倒的な販売を誇る「のどごし〈生〉」が、2005 年の発売以来、最大となる 4,776 万ケースの販売を記録。新ジャンル市場に占めるシェアも約 3 割を超えた。
※ 「一番搾り」「淡麗グリーンラベル」「のどごし〈生〉」の対前年比は販売数による

以 上